

ぶどう通信

第 19 号

平成 14 年 5 月 1 日

ちよつと不思議な春でしたね。入学式の「サクラ」ではなく、卒業式に桜が咲いてしまったかと思うと四月は一転して肌寒い日が続きました。せつかくの新緑も少し季節外れに感じてしまいます。

調子を崩してしまつたのは人間も同じです。僕は、油断して毛布を片付けたとたんに冷え込んでしまい、ちよつと鼻かぜを引いてしまいました。皆さんはいかがでしたか？ 体調を崩しておられませんか？

ところで先日、なんと三十三年ぶりに従兄弟（いとこ）に会いました。僕は小学校に入る前に会つたのが最後ですから、ほとんど記憶にもありませんでしたが、なんとなく雰囲気を感じているものですね。本当に再会つていいものだなあと思いました。

さて、早いものでもう五月です。今年はサッカーのワールドカップが日本で開催されますし、熱く盛り上がるシーズンになります。暑さに負けないよう今年の夏も乗り切りましょう。

味の感覚（味覚）

以前ある方に「最近食事をするときにすごく辛く感じる。」と言われたことがあります。常識的に言つて年齢とともに感覚は鈍くなるものなに変だなあと感じていました。また、今年行つた介護者教室でもご家族の方から同じようなことを言われたことがあります。さらに先月、ある患者さんのご家族に「舌が敏感になつたみたいで味付けの濃いものを受けつけなくなつたんですよ。」と言われました。

これほどの方に言われるのであれ

ば何かあるのかもしれないと思ひ文献を調べたところ、「脳卒中の後遺症で麻痺が生じた側の味覚が鋭くなる（閾値が下がる）」というデータがあつたのです。これには僕もびっくり。まったく知りませんでした。やっぱり皆さんのご意見は正しかったのです（別に疑つていた訳ではありませんが）。

まだその理由や頻度などは分かつていないようでしたが、僕もこれから調べてみようと思ひます。

本当に皆さんのご意見は貴重だなあと痛感した出来事でした。